

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模
 多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料
 老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹
 介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひ
 ら◆鍼灸てのひら治療院 ◆酸素BOX



vol. 261通信
 R4年5月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目1 1 3 〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問い合わせ・見学 大歓迎！！
 ≪利用状況案内板 (☆募集中★満員)≫
 ☆ナイス・ケア (訪問介護/介護保険)
 ☆ナイス・デイ (通所介護/定員 10名)

月	火	水	木	金	土
6	8	5	7	5	6

☆ナイス・ホーム(定員 17名、現在登録者 12名)
 ☆愛宕の家(定員 17名中入居者 13名)
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)
 ☆サポート・ワン(在宅ヘルパー/自費)

≪5月行事予定≫
 上旬 藤の花見
 17日 運営推進会議 (ナイス・ホーム)
 20日 避難訓練

※少しずつ外出等は行っていますが、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、密になる行事は自粛しています。
 ※今後の行事予定も状況に合わせて変更する可能性があります。ご了承下さい。

≪営業お知らせ≫
喫茶てのひら
 営業日：月・火・木・金・土・日/水曜定休
 時間：9:00-12:30(モーニング営業のみ)
 ※入店制限(10名まで等)あり

酸素BOX
 営業日：月・火・木・金・土/水日定休
 時間：9:00-17:00 完全予約制

★コロナ禍により営業休止★
 ・打太鼓(和太鼓)・コーラス
 ・ナイス・キッズ(学童・託児)
 ・鍼灸てのひら治療院
 ~詳細はお問い合わせ下さい~

一か所に関わるメリットは??/ナイス・ホーム
 訪問介護を主として行って来た私ですが、数か月前から、小規模多機能居宅介護にも関わるようになりました。小規模多機能居宅介護の特徴は、一か所の事業所で、“通い・訪問・泊まり”を組み合わせて利用出来る事。

服薬が心配な利用者さん宅への訪問を行い、服薬の確認と共に、生活の様子を把握してくる。掃除の依頼があるお宅では、日常会話の中から生活の様子を伺うなど、常に、生活に密着した支援が出来るよう、スタッフ間で情報共有に努める。生活に変化がみられれば、その時に応じた方法をとる。もちろん訪問介護においてもサービスを通じて利用者さんの状態を把握し、何か変化があれば、ケアマネさんに報告する等行う。では、“訪問介護”、“と”“小規模多機能型居宅介護の訪問対応”の何が違うのか?

まだ、数か月の関わりの私には、具体的に違いをお伝えすることがまだできません。どんな意図で、同一事業所で、顔なじみのスタッフが関わる事に重点をおいているのか。それにより、利用者さんにとって、どんなメリットがあるのか、理解できた時、私自身が、もっと寄り添って関わられるスタッフになれるような気がします。意識を持ちながら、日々の業務にあたっていきたいです。(H・A)

登録家政婦、介護スタッフ、看護師大募集♪

~令和4年2月5日、永いお付き合いのあった入居者さんが亡くなられました。ご家族より、ご寄稿頂きました。2回に渡り、紹介させていただきます~

母と私と「愛宕の家」

当時、私は東京勤務であり週末にしか帰れず、父と母の老々介護でした。父は90歳を間近に母の介護に体力・気力の限界を感じるようになりました。二人で「愛宕の家」に入ろうと体験入居を考えていたところ、父は急逝。母は一人で「愛宕の家」にお世話になることとなりました。50年以上前、「S・O・S」の前身「飯尾家政婦紹介所」の時代に、母の母(私の祖母)が現会長のお義母さんにお世話になったこともあり、母も安心して入居を決めました。

しかし入居当初は、つれ合いを亡くした寂しさと手足の不自由さにもどかしさを感じ「なぜ自分だけがこんな不幸に・・・」とマイナス思考の母は、精神的に荒(すさ)んだ状態でした。それを救ってくれたのが、入居者一人一人を見据えた介護看護計画と職員さん達の対応でした。私も全てお任せすることができ、安心して東京勤務を続けることができました。母も次第に落ち着きを取り戻し「ここを終の棲家にします」と言うまでになりました。

母の介護を託し私は安心して東京で働ける・・・私がそうであったように「介護される本人もさりながら、その家族もあずけて良かったと思える介護の在り方」って大切なことだと思います。聞くところによると一方的に介護側の要求だけを押し付け家族の重荷になる、そんな施設があるとか。介護を願う家族にも、それぞれの状況・都合があります。家族との接触を密にして、相互理解の中でより良い介護を目指していただきたいと思ひます。出席者が少ないのは残念ですが、家族懇談会はとても良い機会でした。

話は変わりますが少し息抜き。施設で驚いたこと・・・泥だらけの野菜を手にした農家の主婦・・・かと思ったら社長(現会長)。その社長のしっかり者の美人姉妹が経営する家内制手工業・アットホームな施設。でも社名は「S・O・S」。危険信号ではないか。

というわけで・・・次回は「母の残した三通の手紙」です。

天王川公園の藤見に行ってきました。恒例の外出行事が少しずつ実行できるようになりました



「目の保養になるねえ～」と利用者さんたちからの言葉を聞くと苦勞して挙げた甲斐があります(≧▽≦)

ケアとコミュニケーション/ナイス・ケア

病状もあり、身体が思うように動かせない中、お一人で暮らしてみえる A さん。デイサービスの送り出しや入浴介助で訪問させて頂いています。

私は半年ほど前に A さんの担当スタッフに加わる事になりました。ほかのスタッフより経験が浅い事もあり、当初は訪問する度に、点眼の仕方や衣類の脱ぎ着など、介護技術で注意される事しばしば・・・言われた事を受け止め改善出来るよう、自分なりに日々努力して今も関わらせて頂いています。

先日、「だいぶ上手になったね」と言ってもらえ、嬉しくなりました。率直な言葉は A さんに限らず、他の利用者さんからも同様。自分自身が向上する為、また、安心してサービスを受けて頂くため、真摯に受け止め、日々勉強中です。

いつも笑顔を忘れず、利用者さんとのコミュニケーションを通じて、介護サービスはもちろん、心の安らぎを提供できたらと思ひて頑張ります。(M・F)

≪編集後記≫今回はご家族からのご寄稿を掲載させていただく事ができました。利用者さん、ご家族の生の声を皆さんにお知らせできる貴重な機会。本当に感謝いたします。愛宕の家に限らず、どこで生活を送っても、ご本人、ご家族と私達はいつでも相談し合い、悩みながら一緒に過ごしていくのだと感じています。次回もご寄稿予定です。お楽しみに♪(Y・O)

総合防災訓練



半期に一度の総合防災訓練。水消火器の練習や夜間想定訓練も行いました。

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

5月の発送部数 95 部